

緑と活力あふれる生活快適都市
甲斐市広報誌

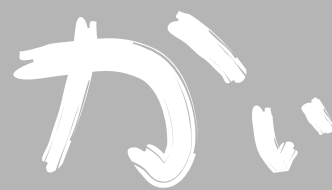
2009.

3

No.055
MARCH

～みんなで目指す、心とからだの健やかライフ～
考えよう 始めよう 健康づくり

●竜王庁舎 TEL. 055(276)2111 (代表)
 ●敷島庁舎 TEL. 055(277)3111 (代表)
 ●双葉庁舎 TEL. 0551(28)2211 (代表)



甲斐市広報誌

March.2009

No.055

3



つくし (土筆)

■つくしは3月から4月頃、野原や河原、土手、畑のあぜなどの日当たりの良い場所に生えます。つくしは、スギナ(シダ植物のトクサ植物門トクサ科トクサ属の植物)の孢子茎で、語源はスギナにくっついて出てくる事から、「付く子」、袴(はかま)の所についている様に見える事から、「継ぐ子」となった説が有力です。また、「土筆」は、土から出てきた孢子茎が伸びきる前は先端まで「袴」に覆われていて、その形状が「筆」に似ていることから「土筆」という字を当てられるようになったものと考えられています。

■つくしは、春の山菜として親しまれていて袴を取って、ゆでて酢の物、佃煮、油炒め、卵とじなどにして食べることができます。

表紙の写真は、市内のイチゴ農園のハウスで撮影させていただいたものです。

また、今月から表紙に、市からのメッセージを掲載させていただくことにしました。

健康づくりで医療費を抑制しよう…… 3

定額給付金についてのお知らせ……………	6
竜王駅南口・北口駅前広場整備に着手……	7
指定管理者による運営に変わります……………	8
国道20号竜王拡幅4車線化一部開通 ……	8
個人住民税を納税されている人へ……………	9
甲斐市こども医療費助成金制度……………	9
パブリックコメント実施結果……………	9
交通災害共済……………	10
行政評価を実施しました……………	11
広報誌アンケート集計結果……………	12
歴史探訪……………	15

マンスリーニュース…………… 16

スポーツニュース…………… 18

図書館、児童館情報…………… 20

インフォメーション・お知らせ

行政……………	22
相談……………	24
講座・教室……………	25
イベント……………	25
双葉ふれあい文化館だより……………	25
スポーツ……………	26
その他情報……………	27
警察からのお知らせ……………	27

Kai・遊・パークからのお知らせ …… 28

環境トピックス…………… 29

福祉保健…………… 30

予定表…………… 34

図書館休館日変更のお知らせ…………… 36

甲斐市の人口 74,306 人 (－ 85)

(平成21年1月末現在)

住民基本台帳人口 72,813 人(－ 86) 男性 36,149 人(－ 78) 女性 36,664 人(－ 8)
 世帯数 28,200 世帯(－ 87) 外国人登録人口 1,493 人(+ 1) ()内は前月比

QR コード

携帯で読み取ると甲斐市の携帯ホームページを表示します。



健康づくりで 医療費を抑制しよう

～みんなで目指す、心とからだの健やかライフ～



「自分の健康は自分で守る」
健康管理は、医療費の抑制につながります。
みなさんで、健康づくりに心がけましょう。

しかし、近年、医療費が増え続けており
このまま増え続けると
みなさんの負担が大きくなってしまいます。
負担を増やさないためにも
まずは、できることから。

毎日、いきいきと健康に過ごしていても
突然、病気になったり、けがをしたり。
そんなときに安心して医療が受けられるように
「健康保険」という制度があります。
この制度では、医療費の一部をみなさんの保険税
(保険料)でまかなっています。

医療費に 関心をもとう

みなさんが病気やけがをして病院に行く
時に、お世話になる健康保険。

この制度は、国民の「相互扶助」という考え
方のもと、運営されています。加入者は義務
として保険税(保険料)を支払い、その保険
税(保険料)でかかった医療費をまかなうと
いう、お互いに支え合うことで成り立ってい
る制度です。

しかし、その健康保険は、近年、医療の高度
化や高齢者人口の増加による医療費の増加
により、財政が圧迫されています。

例として、市の国民健康保険(国保)の状況
をみてみましょう。

■医療費とは

病院や診療所で、診察などの医療にかかっ
た費用のことを言います。

みなさんが病院の窓口で支払った金額

国保などの健康保険会計から支払った金額

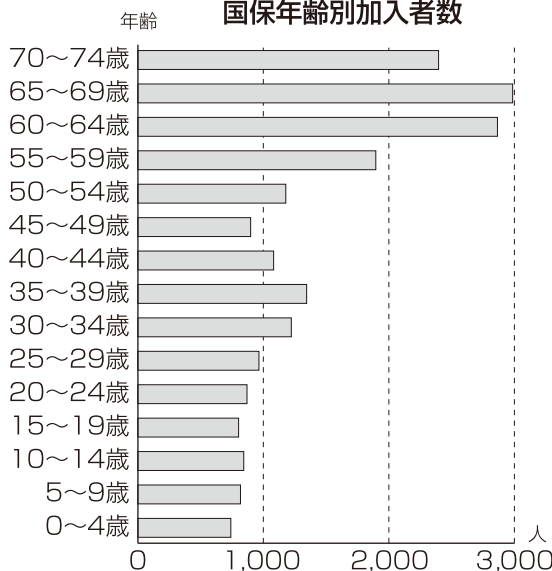
医療費

●国民健康保険の状況

国保には、4月末現在で20、845人が加入
しています。

国保は、他の健康保険に比べて、高齢者や健康
上の理由により被用者保険を脱退した人たちが
多く抱えているため、医療費が高くなっています。
さらに、保険税負担能力が弱い人々の加入割合
が高くなっていることなどから、国保財政は、非
常に苦しい状況になっています。

国保年齢別加入者数



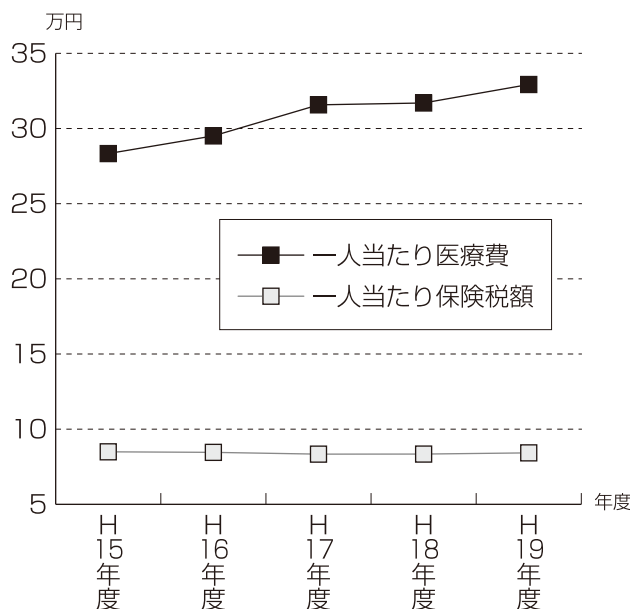
【国保財政】

平成19年度の国保会計の支出は約67億円で、
そのうち20億円が、みなさんの保険税でまかなわ
れています。残りを市や県・国などが負担してい
ます。

【一人当たり医療費と税額】

平成19年度の一人あたり医療費は、平均で32万
9千円でした。1日平均にすると、全員が900
円ずつ使った額となります。過去4年間、毎年平
均4%ずつ増えており、今後も増加していくこと
が予想されます。

それに対して一人当たりの保険税額は、8万4
千円でした。



【保険税の改定について】

保険税は、平成17年度に旧3町の税率を統一し、
その後の医療費増加分は基金を活用し、税率を
3年間据え置いてきましたが、基金残高がなくな
ったことから、今年度、税率を改定しました。

【医療費に関心を】

医療費の増加は、みなさんに納めていただく保険税の増加につながっていきます。医療費の増加を抑えるためには、みなさん一人ひとりが、医療費に関心をもつていただくことが大切です。

病気やけが増えると医療費が増える

財源が不足する

保険税が高くなる

みなさんの負担が大きくなる

国保加入者へ医療費を 12か月分お知らせします

来年度から、みなさんが1年間使った医療費をすべて確認できるように、2か月分の医療費を年6回に分けて送付します。医療費がどのくらいかかっているか、ご確認ください。

●医療費抑制のためには

一つの病気やけがでの重複受診・

はしご受診はやめましょう

同じ検査を最初からやり直したり、同じ薬をもらったりと、医療費の無駄だけでなく、検査や薬の重複で副作用が出る恐れもあります。

できるだけ診療時間内に受診しましょう

時間外の診療は加算料金が発生します。急病などのやむを得ない場合を除き、できるだけ診療時間内に受診しましょう。

かかりつけ医をもちましょう

病歴や体質などが把握され、効果的な治療が受けられます。また、病気の時だけでなく、健康管理全般の助言ももらえます。

薬ねだりはやめましょう

薬を必要以上に、お医者さんにねだるのはやめましょう。

健康診断を受けましょう

年に1回は必ず健康診断を受けて、生活習慣病などの早期発見、早期治療を心がけましょう。

●何よりも、まず健康

医療費の抑制のためにできることは、まず、何より一人ひとりが健康であることです。

市では、一人ひとりが充実した日常生活を過ごし、豊かな人生を送ることを目的とした健康づくりを推進しています。

子ども・働き盛り・高齢者の各年代ごとに、それぞれの年代が抱える疾病や健康に対する課題や成果目標を定め、健康教室や各種健診の充実などの取り組みを進めています。

また、市内には、ウォーキングに適した公園やプールなどの施設があり、身近に健康づくりに取り組める環境もあります。

次号以降で、そういった施設の紹介や健康づくりのための情報をお知らせしていきます。一人ひとりが日ごろから健康管理に気を配り、健康づくりを心がけましょう。



定額給付金についてのお知らせ

定額給付金

景気後退下での市民のみなさんの不安に対処するため、市民への生活支援を行うとともに、地域経済対策に資することを目的に市民に広く給付する予定です。

給付対象者

基準日（平成21年2月1日）現在で、次の要件のいずれかに該当する人

- 住民基本台帳に記録されている人
- 外国人登録原票に登録されている人のうち次に該当する人
 - ・ 出入国管理に関する特例法に定める特別永住者
 - ・ 出入国管理および難民認定法に定める在留資格を有して在留する者（短期滞在の在留資格で滞在する者を除く）

受給権者は…給付対象者の属する世帯の世帯主。外国人については、各給付対象者。

給付額

給付対象者1人につき12,000円

ただし、基準日において**65歳以上**および**18歳以下**の人は20,000円

65歳以上…昭和19年2月2日以前に出生した人 **18歳以下…**平成2年2月2日以降に出生した人

※市では、給付についての所得制限は設けません。

■問い合わせは…総務課（竜王庁舎3階） ☎ 055 (278) 1661

子育て応援特別手当

現在の厳しい経済情勢において、お子さんの多い世帯の子育て負担に対する経済的な配慮を目的に、定額給付金と併せて支給する予定です。

支給対象者

基準日（平成21年2月1日）現在で、**支給対象となる子**の属する世帯の世帯主

支給対象となる子は…3歳以上18歳以下の子が2人以上おり、かつ第2子以降で小学校就学前3年間に属する子（3・4・5歳） （注1） （注2）

（注1） **3歳以上18歳以下の子…**平成2年4月2日から平成17年4月1日までに出生した人

（注2） **小学校就学前3年間に属する子…**平成14年4月2日から平成17年4月1日までに出生した人

- 住民基本台帳に記録されている人
- 外国人登録原票に登録されている人のうち次に該当する人
 - ・ 出入国管理に関する特例法に定める特別永住者
 - ・ 出入国管理および難民認定法に定める在留資格を有して在留する者（短期滞在の在留資格で滞在する者を除く）

支給額

支給対象児童1人につき36,000円

■問い合わせは…子育て支援課（敷島庁舎1階） ☎ 055 (277) 3115

申請および給付方法など詳細については、決まり次第、市から受給権者（支給対象者）に郵送でお知らせします。

なお、申請の際には、振込先口座を記した申請書とともに、本人確認が可能な公的証明書類等の写しおよび振込通帳の写しを添付していただく予定です。

定額給付金に関する詐欺にご注意

定額給付金の給付をよそおった「振り込み詐欺」などにご注意ください。

- ・ 市役所や総務省などが、ATM（銀行・コンビニなどの現金自動預払機）の操作をお願いすることは、絶対にありません。
- ・ 市役所や総務省などが、「定額給付金」の給付のために、手数料などの振込を求めることは絶対にありません。

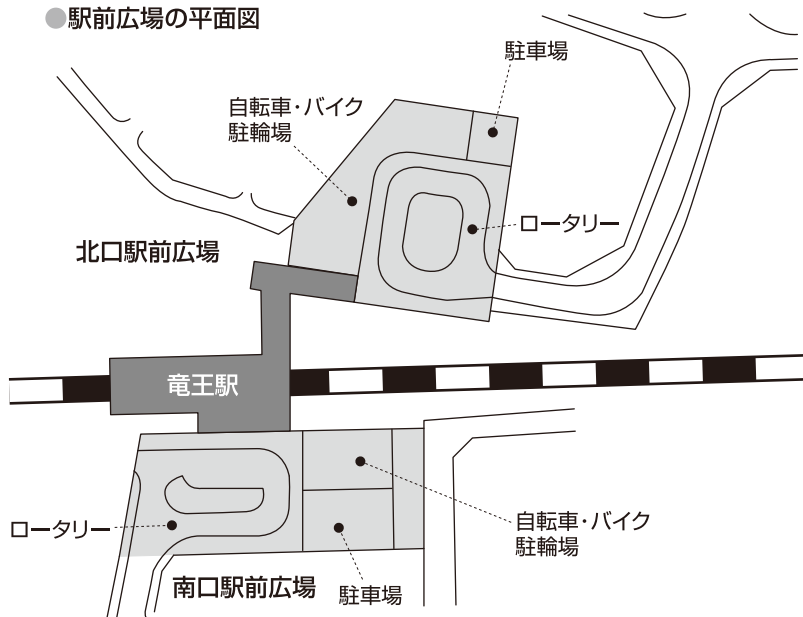
来年3月の完成に向け 竜王駅南回・北回駅前広場 整備に着手

昨年3月に新市の顔、玄関口として供用開始となった竜王駅。その駅と一体感をもち、斬新なデザインで新たな市の顔となることが期待される駅前広場の工事が、いよいよ始まりました。完成は、来年3月を予定しています。

駅利用者をはじめ周辺地域のみなさんには、工事の進ちょく状況により、南口側の臨時ロータリーの移設や交通規制などご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

なお、交通規制などの情報については、随時、広報誌などでお知らせしていきます。

●駅前広場の平面図



【駅前広場施設概要】

ロータリー

- ・ロータリー内部には、駅利用者などが利用しやすい送迎用の一般乗降箇所、タクシー乗り場を設置します。

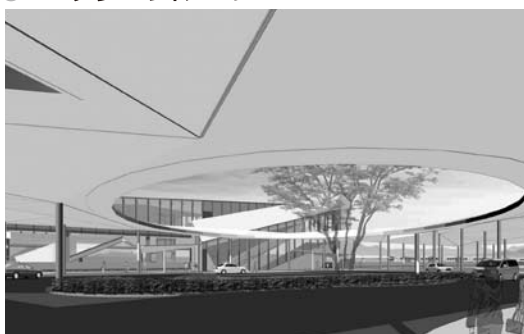
駐輪場

- ・駐輪場は、南口480台（自転車440台、バイク40台）、北口620台（自転車570台、バイク50台）、全体で1,100台の駐輪スペースを設置します。

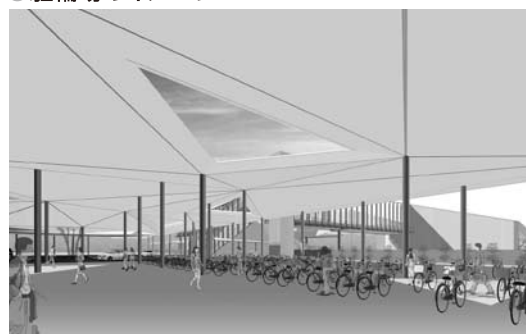
駐車場

- ・送迎をはじめ乗車券購入の利用者などのために、短時間駐車場を南口16台、北口8台の駐車スペースを設置します。

●ロータリーのイメージ



●駐輪場のイメージ



■竜王駅南口・北口駅前広場

広場の外観は、水晶の原石、聖牛、鎧（かすがい）などをモチーフとした駅舎と調和を図り、雨風から利用者を守るなど利便性と安全性の確保のため、広場を屋根で覆います。

また、屋根の下には、ベンチを随所に配置し、地域のみなさんや駅利用者が集える新たな交流の場を提供します。



■問い合わせは…駅周辺整備室（竜王庁舎2階） ☎055(278)1667

指定管理者による運営に変わります

双葉B&G海洋センター ☎0551(28)6029

オープン記念として
4月1日は無料開放します
(双葉のみ)

- **指定管理者** 株式会社フイツツ（指定期間：平成21年4月1日～平成24年3月31日）
- **開館期間** 敷島B&G海洋センター 6月1日～9月30日 } ※現行どおり
双葉B&G海洋センター 4月1日～11月30日 }
- **休館日** 敷島B&G海洋センター：月曜日 双葉B&G海洋センター：火曜日 ※現行どおり
- **利用時間** 午前10時～正午（午前の部）、午後1時～5時（午後の部）、午後6時～9時（夜間の部）
- **利用料金** ※現行どおり

※現行どおり	区 分		料 金
	市 内	小学生未満	無 料
		小中学生	100円
		高校生以上	200円
	市 外	中学生以下	100円
高校生以上		400円	



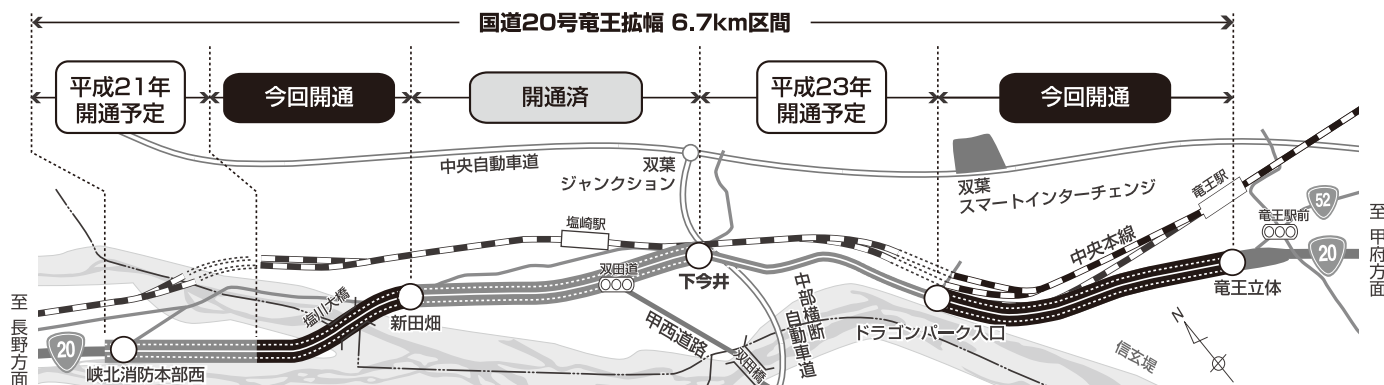
- ・子ども向け水泳教室（幼児・小学生向け）
 - ・各種水中運動・水泳教室（成人向け）
 - ・親子水泳教室（生後6か月から3歳未満）
 - ・スポーツ振興事業・青少年育成事業
（山梨県内外の優秀な成績を収めたアスリートや指導者による講演会やイベント開催）
 - ・B&G財団との連携による多彩なプログラム（カヌー教室・アクアリウムなど）

■問い合わせは…教育委員会スポーツ振興課 ☎0551(20)3656

3月24日(火) 午前10時
国道20号 竜王拡幅4車線化

一部開通

竜王拡幅は、国道20号の甲斐市竜王から韮崎市栄1丁目間6.7kmまでの4車線化の拡幅事業です。今回、竜王立体からドラゴンパーク入口間1.7kmと新田畑から栄2丁目間1kmの2区間が、4車線で開通します。これにより、慢性的な交通渋滞の緩和と交通安全の向上などの効果が期待されます。



■問い合わせは…国土交通省甲府河川国道事務所 ☎055(252)8882

65歳以上の公的年金受給者で、 個人住民税を納税されている人へ

10月から、公的年金に係る所得に対する個人住民税（県民税・市民税）のお支払い方法が変わります。

公的年金を受給されていて、個人住民税の納税義務のある人は、今回の制度改正により、個人住民税が公的年金から特別徴収（天引き）されることとなります。

対象者（平成21年4月1日現在で、次の条件をいずれも満たす人）

- ・年齢が65歳以上の公的年金受給者で、個人住民税の納税義務のある人
- ・年額18万円以上の老齢基礎年金または老齢年金、退職年金等を受給している人

対象となる税額

厚生年金、共済年金、企業年金などを含む、全ての公的年金等に係る所得額に応じた税額分のみ

実施時期 10月支給分の年金から

※平成21年度の税額の半分については、6月および8月に普通徴収（納税通知書により支払う方法）により納めていただきます。

※本制度の詳細については、広報誌5月号でお知らせする予定です。

■問い合わせは…

税務課（竜王庁舎1階）

☎055(278)1663

後期高齢者医療保険料 納め忘れはありませんか

後期高齢者医療保険料は、みなさんが病院などにかかったときの医療機関への診療費用等の支払いに使われます。保険料の納め忘れがないようお願いします。

納め忘れがある場合、8月の被保険証更新の際に有効期限の短い被保険者証となる場合がありますので、ご注意ください。市から督促状が届いている場合は、お早めに支払いをお願いします。納付書が見当たらない場合や口座振替での支払いを希望される場合は、保険課までお問い合わせください。

なお、現在の被保険者証の有効期限は、7月31日となっています。8月からの被保険者証は7月に郵送しますので、それまでは、現在お持ちの被保険者証をお使いください。

■問い合わせは…

保険課（竜王庁舎1階）

☎055(278)1665

高齢者福祉基礎調査に ご協力をお願いします

市では、毎年4月1日現在65歳以上の高齢者を対象に、高齢者福祉基礎調査を実施しています。

この調査は、山梨県からの依頼により行うもので、統一的な調査を行うことにより、高齢者世帯を把握し、今後の高齢者福祉の向上を図ることを目的としています。

地区民生委員が調査員となり調査を行いますので、ご協力をお願いします。

調査期間 3月～4月中

■問い合わせは…

高齢福祉課（敷島庁舎1階）

☎055(277)3116

手続きはお済みですか

こども医療費助成金制度

4月1日から、市で助成している乳幼児医療費の対象年齢が、入院・通院とも小学校6年生の3月31日までに拡大され、名称が「甲斐市こども医療費助成金」に変わります。

新規対象児童には、既に申請書が郵送されています。申請がお済みでない人は、お早めに手続きください。

なお、現在の乳幼児医療費受給者は、手続きは必要ありません。

新受給資格者証は、3月下旬に全ての対象者に郵送します。

■問い合わせは…

子育て支援課（敷島庁舎1階）

☎055(277)3115

■パブリックコメント実施結果

貴重なご意見をありがとうございました。意見等についての詳細は、市ホームページでお知らせしています。

案 件	甲斐市第2期障害福祉計画	甲斐市住宅マスタープラン	甲斐市第5次高齢者保健福祉計画 第4期介護保険事業計画
募集期間	1月5日(月)～30日(金)	1月5日(月)～2月6日(金)	1月16日(金)～2月6日(金)
提出された意見等	1件	意見はありませんでした	意見はありませんでした
担当課	福祉課	建設課	高齢福祉課
問い合わせ先	☎055(277)3114	☎055(278)1668	☎055(277)3116

交通災害共済 に加入しましょう

○交通災害共済とは…

市民が掛け金を出し合い、不幸にも交通事故にあわれた人に見舞金が支給される「市町村住民のための」相互扶助制度です。県内の市町村が一体となって実施している制度ですので、多数のみなさんに加入していただけるようお願いします。

○加入の資格は…

甲斐市に居住し、甲斐市に住民登録してある人または、外国人登録のしてある人は、どなたでも加入できます。

○共済掛金は…

1人年額500円となっていますので、家族そろっての加入をお勧めします。

○共済期間は…

平成21年4月1日～平成22年3月31日（ただし、中途加入の場合は金融機関で支払いをした日の翌日から）



【加入方法】

- ・加入申込書は、お住まいの自治会を通じて各家庭に配布されます。
- ・記入例を参考に記入し、住所・氏名等を記入のうえ市内金融機関（郵便局除く）へ加入申込書と掛金をお持ちください。
- ・加入資格を確認したうえで手続き願います。・学生については、市内在住でなくても加入できます。

【取り扱い金融機関】

●山梨中央銀行本・支店・甲斐市役所派出所 ●中巨摩東部農業協同組合本・支店 ●梨北農業協同組合本・支店 ●山梨信用金庫本・支店 ●甲府信用金庫本・支店 ●山梨県民信用組合本・支店

【交通災害共済加入申込書の書き方】

- ・ボールペンで次の記入例を参考に記入してください。
- ・上の欄に「日付」・「住所」・「世帯主」、中ほどの欄に加入しようとする人の「氏名」・「性別」、右側の欄に「加入者数」と「掛金納入額」を記入してください。

記入例

記入しないでください。

加入する人の名前、性別を記入してください。

申込人数に500円をかけた金額を記入してください。

※料金納入額を間違えた場合、訂正はできませんので新しい用紙に書き直してください。

交通災害共済加入者証							
市町村名		甲斐市			(加入番号)		
平成		年	月	日			
(住所)		甲斐市竜王1-1番地					
世帯主		甲斐太郎					
番号	加入者氏名	男女別	生年月日	続柄	加入者数	領収日付印	
1	甲斐太郎	男・女	年月日		4人	掛金納入額 円 2,000	
2	甲斐花子	男・女	年月日				
3	甲斐一郎	男・女	年月日				
4	甲斐二郎	男・女	年月日				
			年月日				
			年月日				
			年月日				
共済期間		平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで		取 扱 者 名	記入しないでください。		
発行機関		山梨県市町村総合事務組合					
注意事項 1 この加入者証は、共済期間中たいせつに保管して下さい。 2 この証をもって、領収書にかえさせていただきます。 3 共済見舞金を請求されるときは、市町村へご相談ください。ただし、請求期間は障害が治癒した日から2年間です。 4 この加入者証を紛失、汚・破損したときは、または記載事項に変更があったときは、市町村へ申し出て下さい。 5 交通災害を受けたときは、直ちに最寄りの警察署、又は駐在所へご連絡の上、事故の確認をもらってください。							

■問い合わせは…防災安全課（竜王庁舎3階） ☎055(278)1676
山梨県市町村総合事務組合 ☎055(235)3228

行政評価を実施しました

市では、市が平成19年度中に実施した585の事務事業のうち、主要な事業と市が単独で実施した補助事業を中心に、246の事務事業について行政評価を実施しました。

事務事業の必要性、有効性、達成度、効率性および優先度などを評価基準とし、一次評価、二次評価、最終評価を行った結果は、次のとおりです。

評価結果	事務事業数	割合
拡大を目指していく事務事業	27	11.0%
現状維持とする事務事業	171	69.5%
業務改善を行う事務事業	38	15.4%
統合を行う事務事業	1	0.4%
縮小を目指す事務事業	6	2.4%
休廃止を行う事務事業	3	1.3%

行政評価は、行政改革の一環で実施しており、この結果をもとに、事務事業の見直しや改善を行い、より効率的な市政の運営を目指します。

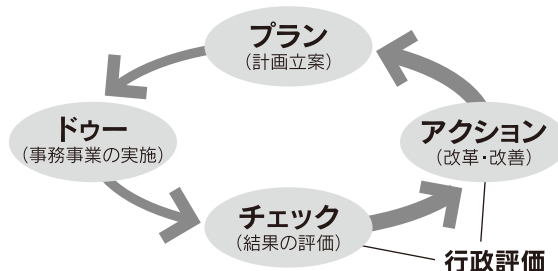
●評価結果の抜粋

評価区分	事務事業名	評価内容
拡大	乳幼児医療費助成事業	小学6年生まで拡大している自治体が増えている。窓口無料化による医療費の影響を見極め、年齢拡大を検討。
	防災行政無線整備事業	無線機器の老朽化対策とデジタル化方式への移行を目指す。
	私立幼稚園就園奨励事業	保護者負担の軽減を図るため、制度の充実を検討。
縮小	老人保健事業	法改正により後期高齢者医療制度が新設された。
	オフトーク通信事業	加入世帯は減少傾向にあり、防災行政無線の整備と併せ、伝達手段を検討。
休廃止	犬、猫不妊去勢手術費助成事業	一定のニーズは満たした。今後は飼い主の責任で行うことを推進する。
	地区婦人学級補助金事業	合併前の制度を継承してきた。婦人層に限定せず地域コミュニティの活性化を図る。



●行政評価とは…

市が実施する政策、施策、事務事業について、予算額や人員をどれだけ投入し、結果として「市民にとってどれだけの効果があったか」「当初想定した成果はあがっているか」を、数値などの客観的視点を利用し、評価・検証を行うものです。



なお、市ホームページや企画課の窓口では、行政評価の詳しい内容や事務事業の評価シートを公表しています。

問い合わせは…企画課(竜王庁舎2階)
055(278)1662

より親しまれる広報誌を目指して

広報誌アンケート 集計結果をお知らせします

市政をはじめ、まちのできごとや市民生活に関わる多くの情報を掲載し、市民のみなさんに毎月お届けしている広報誌「かい」。この広報誌について、昨年の9月号において読者に誌面構成や満足度などをお聞きするアンケートを実施したところ、531人のみなさんから回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

このほど、集計がまとまりましたので結果の概要をお知らせします。

お寄せいただいたご意見等を参考に、より読みやすく、よりみなさんに親しまれる広報誌づくりに取り組んでいきますので、みなさんのご理解・ご協力をお願いします。

回答者数 531人
(郵送417人、直接59人、インターネット55人)

■あなたのお住まいは

竜王地区	251人	47.3%
敷島地区	144人	27.1%
双葉地区	100人	18.8%
市 外	9人	1.7%
無 回 答	27人	5.1%

■あなたの年代は

20歳以下	2人	0.4%
20歳代	15人	2.8%
30歳代	74人	13.9%
40歳代	60人	11.3%
50歳代	72人	13.6%
60歳代	141人	26.6%
70歳以上	140人	26.4%
無回答	27人	5.0%

■あなたの性別は

男性	199人	37.5%
女性	294人	55.4%
無回答	38人	7.1%

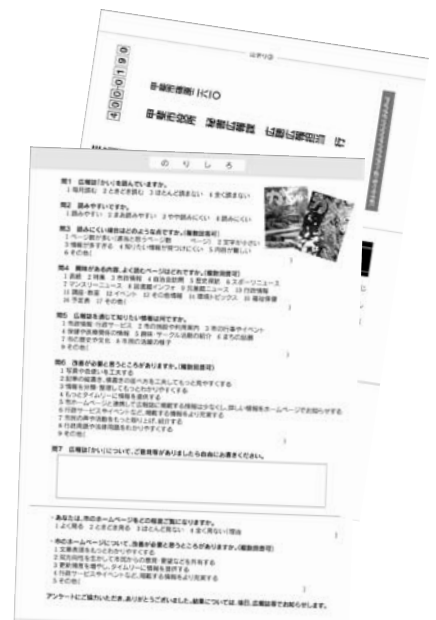
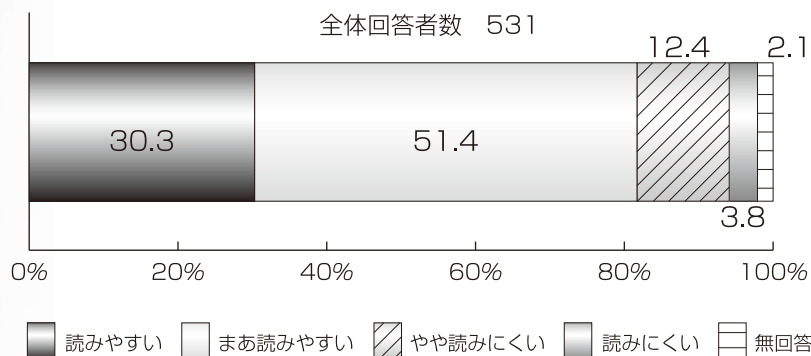
■情報を主に得る手段は(複数回答可)

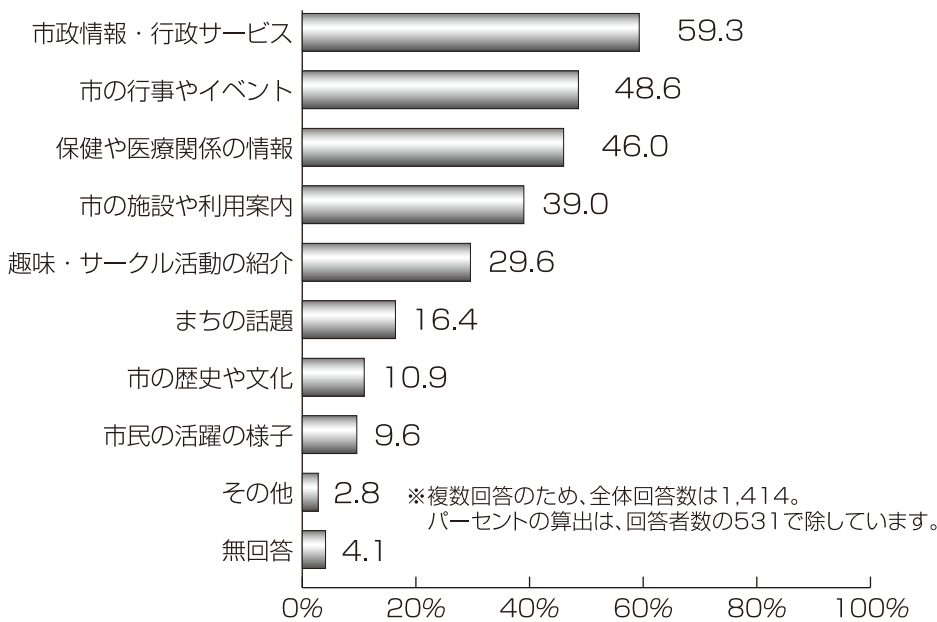
広報誌「かい」	469人	88.3%
市ホームページ	72人	13.6%
直接問い合わせ	62人	11.7%
窓口にあるチラシ等	50人	9.4%
その他	14人	2.6%
CATV	12人	2.3%
無回答	33人	6.2%

※複数回答のため、全体回答数は712。

■広報誌「かい」は、読みやすいですか

○読みやすさでは、「肯定的な評価」が80%を超えています。

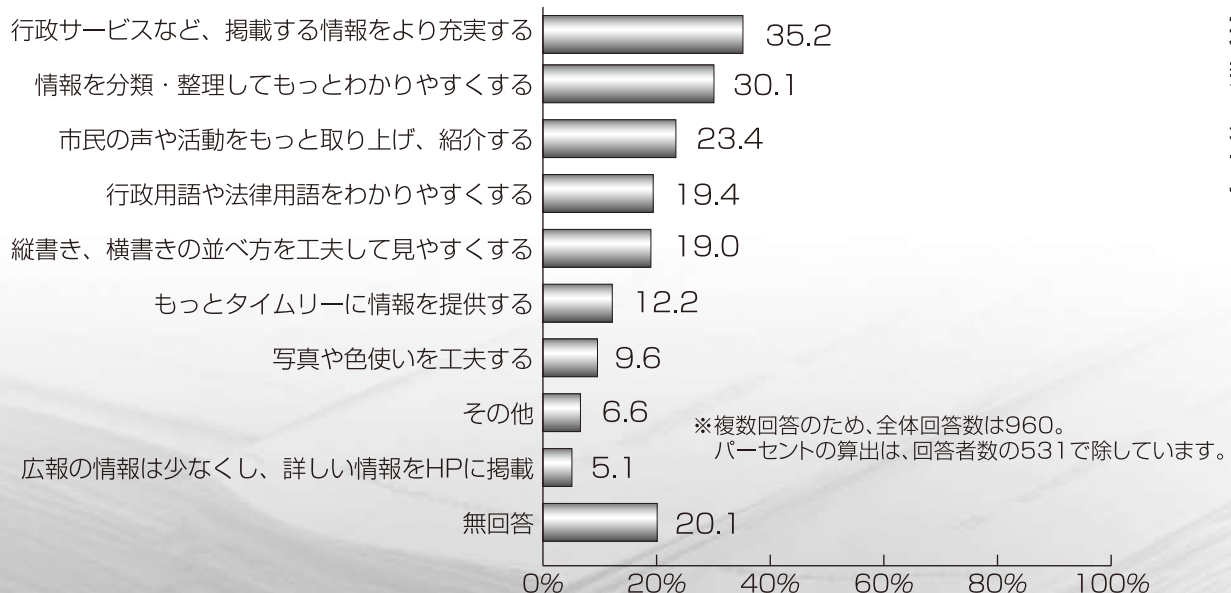




知りたい情報は何ですか（複数回答可）

○「知りたい情報が見つげにくい」43.7%、「文字が小さい」16.7%、「情報が多すぎる」14.1%、「ページ数が多い」10.3%などとなっています。また、ページ数が多いと回答した人で「適当と思うページ数」では、18人が回答し、全ての人が25ページ以下の回答となっています。

読みにくい場合はどのような点ですか



改善が必要と思うところがありますか（複数回答可）

集計結果から見えてきたこと

- ・回答者は女性が全体の約6割を占め、年代別では60歳代、70歳以上の高齢者の関心が高いことがわかった。
- ・市からの情報を主に得る手段は、広報誌が88.3%と高く、読者にとっては毎月各家庭に配布され、読みたいときに読み、情報を得ることができる広報誌が重要な手段となっている。
- ・読みやすさについては、全体の80%以上の人から肯定的な評価をいただいたが、読みにくい場合はどのような点かという問いでは、「知りたい情報が見つげにくい」「文字が小さい」「情報が多すぎる」などの回答が多くあった。
- ・広報誌を通じて知りたい情報は「市政情報」「行政サービス」「市の行事やイベント」「保健や医療関係の情報」などの回答が多く、市政や健康面への関心が高いことがわかった。
- ・「行政サービスなど、掲載する情報をより充実する」「情報を分類・整理してもっとわかりやすくする」「市民の声や活動をもっと取り上げ、紹介する」などの改善意見が多く寄せられた。

たくさんご意見をいただきました

(自由回答から抜粋)

【ここがダメ】

- ・講座や救急医療などの文字が小さく読みにくい。
- ・余白が少なく活字が詰まりすぎている。
- ・情報が多すぎて、読みにくい。必要な情報を簡単に見やすく。
- ・もっと市民の顔の見える誌面づくりを。
- ・新しい用語や特にカタカナ語がわかりづらい。
- ・税の滞納状況などの行政情報をもっと市民に公開すべき。

【ここがイイ】

- ・毎月の広報により情報を得て、講座やイベントに参加したり、知識を得ている。
- ・いくつかの町の広報を読んだことがあるが、甲斐市の広報は読みやすく身近に感じる。
- ・四季折々の表紙のモチーフと、その月々に合った表紙全体の色彩が素晴らしい。
- ・情報も分類して載っているの、必要なところがすぐわかり、読みやすいし、見やすい。
- ・写真やイラストを使って色々な面に気配りして、良く編集している。

【こんな工夫を】

- ・各ページに少しカラー写真をとり入れたらもっと変化がついて、読みたくなると思う。
- ・漫画風で市の行政(保健、年金関係)の説明をしたらどうか。柔らかく、簡単に表現できる。
- ・市は何を考え、どういう方向に持って行こうとするのか、また、市民は何を考え、何を要望しているかを載せる。
- ・同じ人が見るであろう情報をまとめて載せる。

なお、ご質問もいくつかいただきました。次号以降で、代表的なものについてお答えしていきます。

甲斐市ホームページ ご覧になったことがありますか

今回のアンケートでは、市のホームページについてもお聞きしました。

「どの程度利用しているか」の問いに、半数以上の人「全く見ない」「ほとんど見ない」と答えています。

理由は、「パソコンがない、使えない」という声が多く、広報誌の重要性・必要性を訴える声が多くありました。ホームページの存在を「知らなかった」という声も。

また、情報の充実や更新頻度を増やし、タイムリーな情報提供を望む声が多く寄せられました。

市からみなさんに情報を伝える手段は、主に広報誌とホームページの二つがあります。

広報誌は、紙媒体で各家庭に届けられ、手にとって読むことで、特に目的意識を持たない人にも情報を伝えられるという利点があります。

一方、ホームページは、文字量の制限がないので情報をたくさん載せられる、伝えたい情報をすぐ伝えられるという利点があります。

今後も、広報誌とホームページ、それぞれの特性を生かして、市の情報を発信していきます。ホームページにも、ぜひアクセスしてみてください。

◎市のホームページは、各庁舎や図書館、公民館、竜王駅などに設置している情報端末でもご覧いただけます。



貴重なご意見ありがとうございました

市が初めて実施した、広報誌についてのアンケート。今回ご紹介した以外にも、たくさんの方の貴重なご意見やご提案をいただきました。いただいたご意見等を参考に、情報の整理や誌面を見やすくする工夫などは、随時、編集の過程で、心がけ取り組んでいきます。

しかし、誌面構成の変更や新しいコーナーを、といったご意見については、今後、広報誌のリニューアルを目指すなかで検討していく予定です。

なお、集計結果の詳細は、市ホームページで知らせていきますので、ぜひご覧ください。

■問い合わせは…秘書広報課(竜王庁舎3階)
☎055(278)1678

狐塚1号墳

市指定史跡

平成2年12月5日指定

狐塚1号墳は、赤坂台地と呼ばれる、茅ヶ岳山麓から延びる台地の南端、ドラゴンパークの東側にあります。

この赤坂台地には、かつて30基ほどの古墳があったと言われています。現在は、狐塚1号墳のほか、ドラゴンパーク駐車場の東にある県指定史跡のなかまきづか古墳、中秣塚古墳、市指定史跡の狐塚2号墳など数基が確認できるのみとなっています。

狐塚1号墳は、円形をした古墳で、南北が23メートル、東西が19・5メートル、高さ2・7メートルを測ります。墳丘の中央には、くぼみがあり石室の一部と思われる大型の礫が露出しています。

昭和63年に行われた地中レーダー探査の結果では、石室の推定長5・5メートル、幅1・5



メートルとなることが確認されました。また、古墳の周りには浅い落込みがあることから、周溝がめぐっていると考えられます。古墳の構造や周辺の古墳の様子から、築造

甲斐の歴史探訪 指定文化財を訪ねて

時期は、7世紀頃と考えられています。

(所在地 竜王774-1)

羅漢寺跡のカキ

市指定天然記念物
昭和62年6月16日指定

カキとしてはかなり大きく、幹囲約2・0メートル、樹高約18メートル、地上0・5メートルで接木した痕跡がみられます。



内にあり、道は整備されていないため、見学は困難です。
(所在地 吉沢羅漢寺山中腹)

台木はマメガキと思われ、それに接がれた品種は現在知られていないものからは特定できませんが、系統的には富士系(小型の渋柿)のカキとされています。

もともと羅漢寺は、現在地から羅漢寺沢を約1キロメートル遡った谷あい位置し、広範囲な境内地があったことが発掘調査によって明らかになっており、その一角にこのカキがあります。(特別名勝「御岳昇仙峡」

竜蔵院の無患子

市指定天然記念物

昭和59年2月27日指定

滝坂地区の竜蔵院の無患子はムクロジ科の落葉樹で、幹囲約2・15メートル、樹高約19メートルです。

ムクロジは日本の中部地方以南に自生し、庭園や寺社などに植栽されることが多く、樹高

は一般的に10〜15メートル程度になります。種子は羽根突きの球に用いられ、果皮はせっけんの代用とされてきました。
(所在地 龍地6319)





双葉ふれあい文化館で、恒例のふれあい新春カラオケ大会が開催されました。市内の団体、企業等から参加した27組のみなさんが、華やかなステージで自慢の歌声を満席の観客を前に披露しました。

結果は次のとおりです。

優勝…谷川のり子さん（大柴リフォーム工業）

準優勝…石部初男さん（ファニーボックス）

3位…大澤美雪さん（株式会社 大沢防災）

熱演賞…春藤京子さん（女性団体連絡協議会）

三井正之さん（詩吟 甲竜会）

ふれあい賞…商工会竜王支部

消防団敷島支部第3分団

新春カラオケ大会 1月25日

●1月19日 手話クラブ

双葉西児童館で行われている手話クラブは、児童館職員の向山さんが、子どもたちに手話をもっと身近に感じてもらい、少しでも役に立てばと、昨年の4月から毎月1回行われています。最初は、あいさつ、自己紹介から始めた手話も、回数を重ねながら段階を上げて行き、昨年のクリスマス会では、歌を手話で表現するなど、クラブでの成果を披露しました。今回のクラブでは、かるたに描かれた絵を手話で表現して取り合う「手話かるた」が行われ、参加した子どもたちは、始めはおそろおそろかるたを取っていましたが、何回か繰り返し行い自信がついてくると、積極的にかるたを取り合い、自分の取った枚数を数え喜んでいました。



●2月3日 節分の日に豆まき

竜王北保育園で行われた豆まきでは、節分の由来のお話を聞いた後、園児たちが折り紙を使い自分で作った豆入れに豆をいれてもらい、体が丈夫になり、風邪をひかないようにと、自分の年より一つ多く豆を食べました。豆まきが始まり、鬼が来ると、始めは、泣きながら逃げ回る子どもたちがほとんどでしたが、最後には先生にしがみついたり鬼に豆を投げつけて退治し、帰っていく鬼の姿を見て、みな安心した様子でした。



「ふれあい・いきいきサロン」 2月6日

市社会福祉協議会主催による、「ふれあい・いきいきサロン」フォーラム2009が、敷島総合文化会館で行われました。いきいきサロンでは、高齢者のみなさんが、地域において楽しい仲間づくりや生きがいづくりを通し、介護予防や認知症予防ができるようさまざまな教室やレクリエーション活動等を実施しています。

フォーラムには、約170人が参加し、市内で活動している25地区の中から、2地区のサロンの代表者が、昨年の活動内容や、現状の問題点・今後の進め方について発表しました。また、転倒予防や寝たきり予防に効果のある3B体操も行われ、参加した人たちは、音楽に合わせて運動を行うなど、介護予防を実践しました。





● 1月21日 室内雪合戦

敷島ふれあい中央児童館で、1年生から3年生の子どもたち51人が参加して室内雪合戦が行われました。冬の寒い時期なので、室内にこもりがちな子どもたちに、ストレスと運動不足を解消してもらおうと行われたもの。雪合戦が始まると、子どもたちは夢中になりながら新聞紙で作った雪玉をぶつけ合い、無邪気に楽しみました。子どもたちは、本物の雪より当たっても痛くないので、楽しかったと喜びながらも、本物の雪が積もり、外で雪合戦ができることを願っていました。

児童がお年寄りと交流 1月27日●

双葉東小学校の6年生児童が、総合的な学習の一環として、福祉教育について考える授業で甲斐市宇津谷の老人福祉施設「ひかりの里」を訪れ、入所者のお年寄りと交流会を行いました。この日は、6年3組の34人が6グループに分かれて、百人一首やおはじき、マジックショーなど、自分たちで交流の内容を考え、お年寄りたちにゲームの進め方など説明しながら交流を図りました。トランプを使ってマジックショーを披露した児童たちは、ちょっぴり緊張しながらもマジックが成功するとお年寄りから大きな拍手が送られ、楽しく充実した時間を過ごしました。



● 1月・2月 スキー教室開催

市体育協会スキー部では、1月17日（土）、2月14日（土）の2日間、長野県青木湖スキー場において日帰りのスキー教室を開催しました。当日は、2日間合わせて大人63人、子ども74人が参加し、初級、中級、上級のそれぞれのクラスに分かれ、体育協会スキー部員より自分のレベルに応じた指導を受け、スキーの技術を高めました。

1月28日●

ヘルスサポーター養成講座開催

市食生活改善推進員会では、敷島保健福祉センターにおいて、ヘルスサポーターに興味のある人を対象に養成講座を開催しました。ヘルスサポーターとは、メタボリック症候群を予防し、自らの食生活の改善を目指す人です。講座には24人が参加し、食生活改善推進員の指導で講習会や調理実習が行われ、参加したみなさんは「味加減が濃いことがわかってよかった」「参加して勉強になった」など、健康づくりに関する意識を高めました。



写真提供：フォトライフ

敷島中学校吹奏楽部が1月17日（土）に埼玉県で行われた、第14回西関東アンサンブルコンテスト中学の部に木管・金管の2チームが出場し、ダブルで金賞を受賞しました。そのうち木管八重奏が、3月20日（金）に富山県で行われる全国大会に、西関東代表として出場することになりました。

● 1月17日 敷島中学校吹奏楽部が全国大会へ